

根拠をもった交流へ【多面的に考える】バタフライチャート

【校種・学年】 小学校第6学年

【教科・領域】 道徳科

【実践の概要】

1 教材名 広い心をもって (教材名：ブランコ乗りとピエロ)
(内容項目：A 相互理解, 寛容)

2 本時の実際

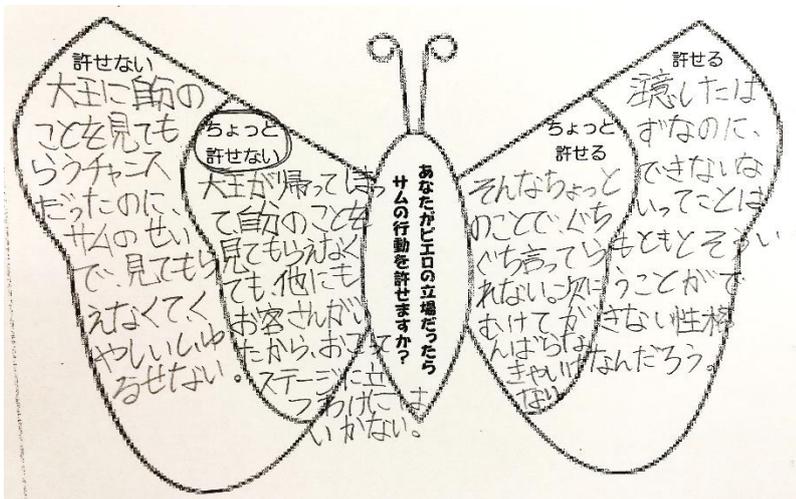
(1) 本時の目標

教材文を読み、自分と異なる意見や、行動の裏にある人の気持ちを考える大切さに気づき、よりよい人間関係を形成していこうとする態度を養う。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○「広い心」とはどのような心なのか話し合う <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">広い心ってなんだろう。</div>	
展開	○どんな話だったか。 ○どんな人が登場したか。 ○ピエロの立場になって考える。 ○ 自分がピエロの立場だったらサムのを許すことができるかバタフライチャートを用いて考え、交流する。 ◎ピエロの心からサムを憎む気持ちが消えてしまったのはどうしてでしょう。 ○サムと共演している時のピエロは、どんな気持ちだったでしょう。	視点1 (3) 「自分と結びつける」 視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○今日考えたことを今後、どんな場面で生かせそうですか。	

3 ツールに見られた思考の姿



4 成果と課題

- バタフライチャートを使うことで、自分の立場で考えるだけでなく、他者の立場で考えることができた。
- バタフライチャートを使って根拠をもった交流することができ、考えを深めることができた。
- 交流を板書でまとめる際にもバタフライチャートを用いたが、スケールチャート(p.)を用いたほうが児童の立場を容易に視覚化することができたと考える。